

# 豊田市足助プール管理運営業務仕様書

令和元年10月  
豊田市地域振興部足助支所

## <目 次>

- 第1 対象施設の概要
- 第2 指定管理者の管理基準
- 第3 業務内容
- 第4 管理員の配置等
- 第5 管理運営に関する業務
- 第6 維持管理に関する業務
- 第7 修繕関係業務
- 第8 管理運営に係る経費の負担

### (各種保守点検等業務)

- A 施設整備
- B 機械設備
- C 水質検査
- D 浄化槽
- E 消防設備
- F 給湯器

### (添付資料)

- ・ 1 足助プール平面図他
- ・ 2 備品一覧表

## 別記 1

### 豊田市足助プールの管理運営業務仕様書

以下に、豊田市足助プールの管理運営に関し、指定管理者が行わなければならない業務の基準を示す。

#### 第1 対象施設の概要

##### (1) 名称及び所在地

- ア 名称 豊田市足助プール  
イ 所在地 豊田市足助町横枕8番地

##### (2) 設置目的

スポーツの振興及び市民の体力と健康の増進を図る。

##### (3) 沿革

- 昭和51年 7月 開設  
平成21年 4月 指定管理者制度導入  
令和 2年 7月 プール改築

##### (4) 施設の内容等

敷地面積 2,930㎡

###### A プール

- ア 構造 鉄骨造(強化プラスチック)  
イ 面積 448.25㎡  
一般用 (25m×6コース)  
低学年用 (25m×2コース)  
ウ 水深 一般用 1.20m  
低学年用 0.85m

エ 幼児用プール(簡易ろ過機付)、洗浄設備(シャワー)、洗眼設備有

###### B 管理棟(監視員室、機械室、倉庫、男女更衣室、身体障害者用更衣室、男女トイレ、多目的トイレ)

- ア 構造 木造 1階建て  
イ 面積 208.89㎡

#### 第2 指定管理者の管理基準

##### (1) 利用期間

毎年7月第2日曜日から8月31日まで

※上記利用期間以外(概ね6月最終月曜日)に足助地区の小学校でプール設備のない学校(令和元年9月末現在では7校)は、学校活動等として利用するため、利用日等について学校と確認し調整を行うこと。

##### (2) 利用時間

午前9時30分から午後4時まで

(3) 利用日及び利用時間変更

指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、利用期間以外に臨時に開業し、又は利用期間及び利用時間を臨時に変更することができる。なお、当該変更に伴い管理経費が増加した場合であっても、市から支払う指定管理料の増額はしない。

ただし、前記に示した学校活動等に利用する期間の管理経費については、あらかじめ指定管理料に含めるものとする。

また、指定管理者は、休館日及び開館時間についても、利用者のサービス向上等の視点から柔軟に対応し、提案することができる。

(4) 渇水・悪天候に伴う対応

① 渇水時の対応

渇水時の際は、上下水道局総務課及び足助支所の指示に基づき、水道水の使用を制限又は臨時休業とする。

② 風水害時の対応

次の場合は即時に施設の利用を中止する。

- ・ 台風接近時に暴風警報が発表された場合
- ・ 線状降水帯等による大雨により、豊田市災害対策本部が「警戒レベル4 避難勧告」または「警戒レベル4 避難指示（緊急）」を発令した場合。

③ その他

落雷等により利用者の安全が確保できないと判断される場合は、足助支所と協議の上で利用を中止するなどの措置を講ずること。

(5) 利用の許可

指定管理者は、当該施設の利用の許可、不許可及び利用許可の取消しを行う。

ただし、行政財産の目的外使用に関する許可は行うことができない。

(6) 関係法令等の遵守

当該施設を管理運営するに当たっては、地方自治法（昭和22年法律第67号）、愛知県プール条例（昭和36年愛知県条例第1号）、同施行規則（昭和36年愛知県規則第1号）、同運営要綱、豊田市体育施設条例（昭和45年条例第18号）、同管理規則（昭和45年教育委員会規則第6号）その他関係法令等の内容を理解し、遵守すること。

また、愛知県発行の「プール管理の手引き」及び市営プール管理員服務規程を熟読し、遵守すること。（市営プール管理員服務規程による「管理員」とは、管理責任者、現場責任者、監視員等プール業務に携わる全ての者の総称である。）

(7) その他の管理運営等

プール利用期間以外は、定期的（月1回以上）に施設内及び施設周辺の点検、清掃及び安全管理を行い、実施後は速やかに報告書（必要に応じて従前従後の施工写真を添付）を提出すること。

### 第3 管理に係る経費

- (1) 当該施設の管理に要する経費は、指定管理料によって賄うこと。
- (2) 指定管理料の金額は、指定管理者と豊田市との間で締結する各年度の協定書で定める。
- (3) 指定管理者は、当該施設の管理運営業務に係る経理と団体自体に係る経理は区別し、独立した会計帳簿類を整備すること。

#### 第4 業務内容

指定管理者の行う業務は、スポーツの振興及び市民の体力と健康を増進するための施設としての目的を果たすため、施設の受付等を含む施設全体の運営業務及び点検、清掃等の維持管理業務等である。

#### 第5 管理員の配置等

人員配置は、下記のとおりとし、当該施設における安全で衛生的な管理及び運営を行うこととする。指定管理者は、施設に従事する者が下表に示す各種資格要件を満たすことを証明できる書類（合格証・資格証・免状・経歴書・社会保険証等の写し）を市の求めに応じ提出するものとする。

##### (1) 管理責任者

- ア プールを安全で衛生的に管理及び運営を行うように管理監督をする。
- イ プールについて管理上の権限を行使し、関与する全ての従事者に対するマネージメントを統括して、プールにおける安全で衛生的な管理及び運営に当たる。
- ウ 常駐の必要性はないが、最低1週間に1回は現地へ赴き、現場の状況を把握すること。指定管理者の社会保険加入者である正社員とする。
- エ 下記の資格を有する者とする。

(公財)日本水泳連盟プール公認規則第16条(プール管理者)で規定された(公財)日本体育協会公認水泳指導員・(公財)日本体育協会公認上級指導員・(公財)日本体育協会公認水泳コーチ・(公財)日本体育協会公認水泳上級コーチ・(公財)日本体育協会公施設協会水泳指導管理士のうちいずれか1つ以上

##### (2) 衛生管理者

- ア プールの衛生及び管理の実務を担当する。
- イ 衛生管理者は常駐することとし、指定管理者の社会保険加入者である正社員とする。
- ウ プールにおける安全及び衛生に関する知識及び技能を有すること。
- エ 水質に関する基本的知識、プール水の浄化消毒についての知識等を有し、プール管理のための施設の維持、水質浄化装置の運転管理、その他施設の日常の衛生管理に当たり、管理責任者、監視員及び救護員と協力して、プールの安全管理に当たる。
- オ 日本赤十字社水上安全法救助員の資格を有する者とする。

##### (3) 監視員

- ア プールの利用者が安全に利用できるよう、プール利用者の監視及び指導等を行うとともに、事故等の発注時における救助活動を行う。

- イ 監視員は常駐することとし、常時プールに目が行き届く体制をとること。
- ウ 一定の泳力（2泳法で各50m以上）を有する等、監視員としての業務を遂行できる者とする。
- エ 下記の①または②のいずれかの資格要件を満たす者とする。
  - ①日本赤十字社水上安全法救助員の資格を保有すること。
  - ②普通救命講習Ⅰ終了若しくはそれ以上と認められる資格を保有すること。
- オ 18歳以上で健康な者とする。ただし、高等学校生は除く。

#### (4) 施設管理員

- ア 建築物の維持管理及びプール関連設備の運転管理を行う。
- イ 施設管理員は常駐することとし、建築物又はプール関連設備に関する突発的なトラブルに対応できる体制をとること。
- ウ 建築物の維持管理及びプール設備の運転管理に従事した経験のあるものとし、指定管理者の従業員であることとする。

#### (5) その他

- ア 管理責任者と衛生責任者は、同一の者が兼ねることとしても差し支えないこととする。
- イ 監視員は、施設管理員と同一の者が兼ねることとしても差し支えないこととする。
- ウ 施設管理員は、衛生管理者又は監視員と同一の者が兼ねることとしても差し支えないこととする。
- エ 監視員等安全管理に関わる全ての従事者に対し、プールの構造設備及び維持管理、事故防止対策、事故発生等緊急時の措置と救護等に関し、就業前に十分な教育及び訓練を行うこと。特に、排水口における吸い込み防止事故を未然に防ぐため排水口の蓋等が固定されていない状態等の危険性、ポンプ停止や利用者の避難誘導等の緊急等の対応方法を正しく理解させること。なお、教育内容は次の①～⑤の項目を必ず盛り込み、⑤については必要に応じて随時実施すること。また、訓練内容には、飛び込み事故や溺死事故等のほか、排水口における吸込み事故を想定したものを必ず含むこととし、その他必要に応じて適宜必要な内容を盛り込むこと。

- ① プールの構造及び維持管理
- ② プール施設内での事故防止対策
- ③ 事故発生時緊急時の措置と救護
- ④ 緊急事態の発生を想定した実地訓練
- ⑤ 日常の業務において従事者が経験した具体例や苦情等を題材とした事例研究

### 第5 管理運営に関する業務

指定管理者は、公の施設管理運営の責務を認識して、効率的かつ効果的な施設運営を心がけ、経費の節減に努めるとともに、創意工夫により市民が利用しやすいようにサービスを向上させること。

#### (1) 庶務業務

- ア 予算の管理

予算書の作成、伝票・帳簿類の作成、予算執行状況の把握、支払い事務

イ 使用料の徴収・納入

使用料の徴収、遊泳券の発行、出納簿の作成、公金振替・使用量納入事務

ウ 現金管理

施設使用料等の管理保管

エ 会計書類その他の文書の整理、保管

各種伝票・帳簿、使用料出納簿、その他の文書の整理・保管、文書の收受

オ 利用統計の作成

- ・月別、曜日別、内容別（天候・気温・水温・料金体系別等）の利用件数、人数の集計及び統計報告
- ・施設使用料等の徴収明細の報告

カ 管理日誌の作成

1日の業務内容（水質検査、清掃、点検、修繕、その他維持管理作業等）や市民対応（事故、苦情又は意見等及びその対応状況、拾得物の記録・対応）など日々の管理状況を詳細に記録すること。

なお、市民（周辺住民）や利用者から苦情・要望等を受けた場合は速やかにその内容を検討し、公正かつ迅速な処理を行うとともに、必要に応じて足助支所へ報告する。

キ 事業報告

以下の内容を記載した事業報告書を提出すること。

①開設期間終了後速やかに

- ・管理業務の実施状況
- ・利用状況
- ・使用料又は利用に係る料金の収入の実績

②当該年度終了後4月30日まで

- ・管理業務の実施状況
- ・管理に係る経費の収支状況
- ・上記のほか管理実態を把握するため足助支所が必要とする事項

ク 忘れ物・拾得物・残置物の処理

更衣室における忘れ物・拾得物は、台帳を作成し、貴重品類については、原則として足助警察署に届け出ること。タオル・水着類等については、開設期間中、事務所にて保管し、持ち主が不明な場合については処分すること。

敷地内に残置された自転車等で持ち主が不明であり、撤去要請の告示（貼り紙）をした後処分すること。

ケ 放置自動車・放置自転車の処理

放置自動車は、10日以上放置された車両を言い、放置自動車の調査を実施し、10日経過後に警告書を貼付し、市長に報告するものとする。なお、放置自動車のレッカー移動等は足助支所が指定管理者の協力のもと実施する。また、10日以上放置された自転車は放置自転車という。放置自転車については、市長に報告し、市から貸与される警

告文を添付のうえ、指定された期間持ち主が現れなかった場合、市の指定する放置自転車保管場所へ搬入を行う。

#### コ 不法投棄への対策

管理施設内への不法投棄を防ぐよう万全を期すこと。

#### サ 損害賠償責任に関する事項

指定管理者は、施設及び設備の管理運営に起因する損害又は傷害についてその責任を負う。また、必要に応じて施設管理者賠償責任保険、施設入場者保険（レジャーサービス費用保険）等に参加し、その場合の費用は指定管理者の負担とする。

#### シ 管理運営等に係る書類の作成

指定管理者は、管理運営等に係る書類について、既存の様式等を参考として適宜作成すること、また、使用に際しては足助支所の承認を受けること。

#### ス 次の書類等の作成、記録、保管等を行うこととする。

- ① 施設の平面図
- ② 設備図面及び仕様書
- ③ 薬品の保管場所図
- ④ 救命器具、救急薬品等の配置図
- ⑤ 排水口等の位置等の危険個所の表示及び点検結果の掲示
- ⑥ プール利用者への注意事項・禁止事項の掲示
- ⑦ 感染症等の情報提供及びその他感染症対策に必要な対応
- ⑧ プール管理体制図の作成
- ⑨ 維持管理マニュアルの作成
- ⑩ 業務分担及び管理計画の作成
- ⑪ 設備機器の点検方法及び操作方法、水質検査の実施方法の文書化
- ⑫ 緊急時及び事故発生時の緊急連絡・応急体制の体系図の作成
- ⑬ 安全管理に関わる教育・訓練・心肺蘇生法等の救急救命に関する講習会の計画の作成及び実施記録の作成及び保存
- ⑭ 設備運転・水質検査・清掃等の実施計画及び結果の記録及び保存
- ⑮ プール管理日誌の作成（気温・室温・利用者数・水質検査結果・安全点検結果等）
- ⑯ 保健所等の立入り検査に立ち会うこと

#### セ その他の業務

- ① 監視員は常時水着を着用し緊急事態に対処できる体制をとること。
- ② 規則を遵守し、利用者に対しては、接遇・態度・言葉使いに注意し、節度を持って対応すること。
- ③ 管理責任者は、特別な事由により遊泳を中止する場合は市と協議すること。
- ④ 事件事故（人身・物損・盗難等）については、速やかに市へ届けること。緊急の場合は、緊急時対応マニュアルに基づいて迅速に対応すること。
- ⑤ 更衣室、トイレ、シャワーブース等を適宜巡回し、利用者の安全確認を行うとともに必要に応じて清掃を実施し、施設の衛生を維持すること。



- ⑥ プール始業前に全換水する場合は、周囲の自然環境に留意すること。また、プール内への異物の混入等が発生した場合は、市と協議のうえ、水質保全のため必要と認められる場合は全換水を実施すること。
- ⑦ プールの監視業務について、第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。
- ⑧ 職員の出退管理、光熱水費の使用量確認等その他必要と認める事項を実施すること。

## (2) 受付等管理業務

### ア 利用申込の受付及び利用許可等

- ① 遊泳者から使用料を徴収し、遊泳券を発行する。
- ② 小学生以下の幼児の付添い者は、20歳以上の者とし、付添い者は1名につき幼児2名までとする。
- ③ 常時、おむつ等を使用している幼児は、衛生上の問題から入場を不可とする。

### イ 利用者への案内

#### ① 注意事項等の案内

注意事項等が利用者にはわかるように見やすい場所に掲示する。

#### ② 休業案内

あらかじめ、条例、規則に定める日以外に休業する場合は、足助支所に事前に承認を受けるとともに「広報とよた」及び「あすけ支所だより」への掲載を足所支所に依頼し、併せて施設内に案内掲示を行い周知すること。

### ウ 使用料の減免

使用料減免の申請があった場合は、豊田市文化・スポーツ施設減免要綱に基づき足助支所で手続き後、許可されたものについて減免する。

### エ 市との連携

行政財産目的外使用許可等の市の権限に属する申請及び問い合わせがあった場合は、内容を把握した上で足助支所と連携して対応に当たること。

## (3) 遊泳者の指導・監視業務

### ア 遊泳者の休憩時間

開設期間中は、休憩時間を定め50分遊泳後に10分の休憩を入れ、施設内放送等で遊泳者を一斉に休憩させること。

### イ 事故発生

溺れた者を発見した場合は、直ちに救助し、救命講習等で指導を受けた方法により人工呼吸等を行うと共に、必要に応じ消防署へ連絡し、救急車等を手配すること。

### ウ 迷惑行為

他の遊泳者等への迷惑行為を行う者については、厳しく指導し、必要に応じて警察へ連絡すること。

### エ その他注意事項

- ① 監視等に必要な物品（ユニフォーム、麦わら帽子、笛、ゴムぞうり等）は、指定管理者で用意すること。
- ② 監視のローテーションを作成し、監視体制を強化し事故防止に努めること。

#### (4) 緊急時対応業務

##### ア 緊急対応体制の確立

事故や災害時（警報発令時含む）などにおいて、市を始めとする関係機関との迅速かつ的確に情報を伝達ができる体制を確立すること。

- ①緊急時対応マニュアルの作成（学校活動利用の緊急対応を含む。）
- ②初期消火、避難誘導、関係機関への通報マニュアルの作成
- ③利用者ケガ等の対応（救急車・応急措置）マニュアルの作成
- ④その他管理施設内で発生した事件・事故への対応マニュアルの作成
- ⑤立入検査への立会い
- ⑥上記の事務所内への掲示及び市への提出

##### イ 研修（講習会）

監視員に対し、遊泳者への指導及び監視に必要な研修を実施すること。

#### (5) 水泳教室の実施

##### ア 目的

市内の小学校を対象に、泳力の向上を図るため水泳教室を実施する。

##### イ 業務内容

- ①講師依頼
- ②参加者募集・参加費の徴収
- ③参加者への保険の加入
- ④水泳教室の実施

##### ウ その他

- ①指定管理者は、教室の参加対象者、期間及び内容等について提案し、足助支所と協議のうえ決定し実施するものとする。
- ②参加者からの参加費については指定管理者の事業収入とし、また、講師への謝礼及び参加者の保険料、その他水泳教室に必要な消耗品等の費用についても指定管理料に含まれるものとする。

#### (6) 業務遂行の準備

ア 指定管理者は、指定期間の開始とともに円滑に業務を開始するため、指定期間開始前に、当該施設の現指定管理者等から引継ぎを受けること。なお、引継ぎに係る経費は指定管理者の負担とする。

イ 指定管理者は、指定期間の終了又は指定取消しによって、次期指定管理者に業務を引き継ぐ場合には、当該施設の管理運営に支障を及ぼすことにならないよう、円滑な引継ぎに協力するとともに、必要書類及びデータを整備すること。

### 第6 維持管理の関する業務

施設を常に適正かつ安全に維持するために、施設の保守点検・法定点検を実施するとともに、管理員による日常点検・自主定期点検、簡易修繕を実施する。その他建築設備につ

いても、作業遂行に当たり関係法令・維持基準のあるものについては、それに準じて実施すること。

(1) 日常の管理及び保守点検業務等

ア 施設の維持管理

- ① プール本体及びプールサイドの異常の有無等の状況確認
- ② 付帯設備（洗浄設備、洗顔設備）の点検及び安全確認
- ③ プール本他、プールサイド、更衣室、トイレ等の清掃
- ④ 施設内及び施設周辺の草刈、除草作業、側溝等の清掃

イ 機械操作、点検及び清掃

- ① ろ過機、ポンプ等の作業状況の確認
- ② 故障・漏水等の早期発見及び対応
- ③ 放送機器の確認

ウ 薬剤調和、水質検査及び衛生管理

- ① 残留塩素量の測定（1回/時間）
- ② 水素イオン濃度の測定（1回/時間）
- ③ 水温の確認（1回/時間）
- ④ 消毒液の保管状況、在庫の確認

エ プール水の給水

- ① オーバーフロー等による新鮮水の補給
- ② 汚水、濁水等の確認

オ 備品器具等の確認

- ① 救命器具の確認
- ② 救急用品の確認

カ ガス給湯器、給排水

- ① ガス給湯器具点検、使用確認（元栓、臭気）
- ② ガスメーターの確認
- ③ 水道メーターの検針（漏水対策）
- ④ 便所、湯沸室の詰まりや水漏れ対策
- ⑤ 給水管の点検
- ⑥ 排水口のボトル、ねじ等の固定状況の確認

キ 警備

- ・ 施設全体で施錠個所の施錠確認
- ・ 巡回による管理施設内における以上の有無の確認

ク 清掃、ゴミ処理

- ① 施設内の日常清掃
  - ・ プール内（プールクリーナによる）の清掃
  - ・ プールサイドの清掃
  - ・ 更衣室の清掃

- ・トイレの清掃及びトイレトーパー等の補充
- ・事務室・倉庫・機械室の清掃
- ・建物周辺の清掃と草取り及びゴミ・空き缶拾い等
- ・資源・ごみの分別（大会、イベント等で発生したゴミ等は、主催者が処理するよう指導する。）

#### ケ プール開設前準備

- ①各施設、設備を点検し、修繕の必要がないか確認し、足助支所に報告する。
- ②準備作業の開始前及び終了後、速やかに足助支所に報告する。
- ③施設内及び施設周辺の草刈、除草作業、側溝等の清掃を行う。
- ④一般開放前の足助地区のプールが整備されていない小学校（7校）の学校利用については、学校に確認し調整を行う。調整後は、足助支所に利用日等の変更承認願いを提出するとともに、小学校（7校）代表のプール責任者へ利用方法等の説明を行う。
- ⑤事前に上下水道局料金課に開栓の手続きを行い、プールに給水前には同局上水運用センター足助分室に連絡をする。
- ⑥藻類の発生したプール水を全排水し、プール内を清掃後に給水する。なお、給水時は、周辺水道の水圧低下などの影響が発生しないよう補給水量に注意する。
- ⑦プール水の水質検査を実施し、指定の検査項目に異常がないことを確認する。
- ⑧一般開放の利用期間等のお知らせは、「広報とよた」及び「あすけ支所だより」に掲載する。
- ⑨管理室に備え付ける固定電話の開設手続きを行う。

#### (2) 施設管理保守点検等業務

施設を適正かつ安全に維持管理するための保守点検等委託業務  
業務は下記一覧のとおり（詳細は「仕様書資料A～E」参照）

| 業 務    | 内 容                       | 備 考                                    |
|--------|---------------------------|--|
| A 施設整備 | プール始業時前の総合点検及び草刈          | プール全体、給排水口、プールサイド、付帯設備等の点検             |
| B 機械設備 | プール始業前、終業後のろ過機等の機械点検      | ろ過機、ろ過ポンプ、薬注ポンプ、集毛器等の点検                |
| C 水質検査 | プール水の水質基準を満たすため水質検査等の実施   | 遊離残留塩素濃度、水素イオン濃度、濁度、過マンガン酸カリウム消費量、大腸菌群 |
| D 浄化槽  | 浄化槽の保守点検                  | 浄化槽の清掃、保守点検、水質検査                       |
| E 消防設備 | 消防設備の保守点検                 | 機器点検、総合点検                              |
| F 給湯器具 | プール始業前、終業後の温水シャワー用の給湯器の点検 | 給湯器の点検、水抜き                             |

## 第7 修繕関係業務

- ア 大規模修繕の実施計画を作成し、足助支所及びスポーツ課と調整する。
- イ 指定管理者は、市と協議の上で、日常的小規模修繕（1件当たりの上限は50万円）を実施するものとする。
- ウ 指定管理料に含める修繕料は、年間24万円（税抜）を基本として年度協定書に定める金額とする。なお、当該修繕料に剰余金が発生した場合には、市が指示する方法により市に返還するものとする。
- エ 日常的小規模修繕は、指定管理料に含まれる予算を優先して執行するものとする。
- オ 緊急に対応を要する修繕案件に関しては、市との協議の上でその金額に関わらず指定管理者による修繕実施を要請する場合がある。なお、この場合の財源の財源については、指定管理者の新たな自己負担が生じることのないよう適宜調整を図るものとする。
- カ 指定管理者が修繕を実施した場合には、市が指示する方法により、市に対して実施結果を報告しなければならない。

## 第8 管理運営に係る経費の負担

管理運営に係る経費のうち、足助支所又はスポーツ課で負担するものは以下のとおりとする。

- ・大規模修繕費（市が必要と認めたもの）
- ・備品費（市が必要と認めたもの）
- ・建物総合損害共済（災害に伴う建物お飛び建物に附帯するガラスの保険）
- ・指定管理料に含まれる年額24万円（税抜）までの小規模修繕を超えた場合の小規模修繕料

## A 施設設備

### 1 業務の内容

プール始業前に、遊泳者の安全及び衛生的な水質を確保するため、施設の整備・点検及び清掃を行う。作業遂行に当たり関係法令・維持管理基準のあるものについては、それに従って、実施し、また本仕様書に示さない事項でも管理安全上必要な作業については、実施するものとする。

### 2 点検内容

#### ①プール本体

- ・プール水の入替え
- ・プール内清掃

#### ②給水設備

- ・吐水口空間
- ・補給水量の把握

#### ③ 排水設備

- ・排水口、循環水の取入口等の安全確認（二重ふた及びねじ等の安全）

#### ④プールサイド

- ・亀裂等の確認
- ・プールサイド清掃

#### ⑤付帯設備

- ・洗浄設備、洗眼設備の点検
- ・遊戯設備の安全確認
- ・救命道具、救急薬品等の確認

#### ⑥施設内及び施設周辺

- ・草刈、除草作業。側溝清掃
- ・ごみ拾い

### 3 その他

プール開設期間以外は、定期的（月1回以上）に施設内外の状況を確認し、必要に応じて清掃、草刈等を実施すること。

以上、本指示明細書に定め無き事項は、その都度協議の上業務を遂行すること。

## B 機械設備

### 1 業務内容

プール始業前及び終業後にろ過機等の点検整備を行い、機械設備の正常運転及び能力維持を図る。作業遂行に当たり関係法令・維持管理基準のあるものについてはそれに従って実施し、また、本仕様書に示さない事項でも管理安全上必要な作業については、実施するものとする。

### 2 点検対象設備 (機械機器)

| 名称    | 仕様   | 台数 | 設置場所           | 備考       |
|-------|--|----|----------------|----------|
| ろ過装置  | カートリッジろ過装置<br>ろ過能力：120 m <sup>3</sup> /h<br>カートリッジろ材 120 本 (再生タイプ) | 1  | 機械室<br>年 2 回点検 | FF-C-6 型 |
| ろ過ポンプ | 片吸込渦巻式   | 1  | 機械室<br>年 2 回点検 |          |
| 集毛器   | ステンレス製   | 1  | 機械室<br>年 2 回点検 |          |
| 塩素滅菌器 | ダイヤフラム式定量ポンプ   | 1  | 機械室<br>年 2 回点検 |          |
| 薬液タンク | 120 L  | 1  | 機械室<br>年 2 回点検 |          |
| 補給水装置 | 電動二方ポニール弁：50 A×200 V<br>量水器：50 A                                   | 1  | 機械室<br>年 2 回点検 |          |
| 水位調整槽 | F R P 製 水位計  | 1  | 機械室<br>年 2 回点検 |          |
| 制御盤   | 銅版製屋内壁掛形、24Hタイマー付<br>一括警報信号付                                       | 1  | 機械室<br>年 2 回点検 |          |

注) 令和元年 10 月現在当該施設は、建設前のため仕様のための提示とする。

### 3 点検内容

#### ①ろ過器【年 2 回 (プール始業前・終業後) 及び日常点検】

- ・エア抜弁点検
- ・ロータリー弁点検
- ・入側圧力点検
- ・出側圧力点検

#### ②ろ過ポンプ【年 2 回 (プール始業前・終業後) 及び日常点検】

- ・圧力点検
- ・グランド点検
- ・水漏れ点検

③塩素滅菌器【年1回（プール始業前・終業後）及び点検】

- ・ダイヤル目盛
- ・チャッキ点検
- ・液漏れ点検

④その他【年1回（プール始業前・終業後）及び日常点検】

- ・集毛器の点検整備
- ・薬液量

#### 4 ろ過機についての注意事項

(1) プール開設期間終了後、ろ過機の終了後点検の際にカートリッジの洗浄をする場合は、保守業者が持ち帰り、洗浄後ろ過機に再セットし保管する。この場合は、2年に1回のカートリッジの交換となるが、カートリッジの状態によっては、毎年度の交換となるため、洗浄は行わない。

また、現在ろ過機メーカーが決定していないため、保守方法が決定していないが、現場でカートリッジを洗浄する必要がある場合は、洗浄水を直接排水しないこと。

(2) ろ過機タンク内を洗浄した水を排水するときは、タンクから直接機械室内の排水枒へ流れ、浄化槽へ流入される設計となっているため、浄化槽の故障の原因になる可能性があることから塩素が水道水程度まで濃度が下がった状態で排水すること。

#### 5 点検整備上の注意

- (1) 業務に関する責任者を定め、業務に従事する技術者の指揮監督をする。
- (2) 事前に「作業計画」を作成し、それに基づいて作業を遂行すること。なお、施設の業務に支障が無いように配慮すること。
- (3) 作業従事者に対し安全対策を徹底させること。
- (4) 不時の故障等により連絡を受けた時（休日・祭日・夜間等）は、直ちに担当技術者を派遣し、復旧に努めること。
- (5) 点検整備に要する軽微な消耗品及び各種測定機器等については準備負担のこと。
- (6) 点検整備において機器の不良箇所が発見された場合は、速やかに報告し、協議の上処理すること。

以上、本指示明細書に定め無き事項は、その都度協議の上業務を遂行すること。



## C 水質検査

### 1 業務の内容

安全で衛生的なプール水を保持するため水質検査を行う。作業遂行に当たり関係法令・維持管理基準のあるものについてはそれに従って実施し、また本仕様書に示さない事項でも管理安全上必要な作業については、実施するものとする。

### 2 検査内容

| 検査項目          | 基準値                | 検査回数        |
|---------------|--------------------|-------------|
| 遊離残留塩素濃度      | 0.4 mg / L 以下      | 毎日 1 時間毎に行う |
| 水素イオン濃度       | pH 値 5.8 以上 8.6 以下 | 毎日 1 時間毎に行う |
| 濁度            | 2 度以下              | 月 1 回以上     |
| 過マンガン酸カリウム消費量 | 12 mg / L 以下       | 月 1 回以上     |
| 大腸菌群          | 検出されないこと           | 月 1 回以上     |
| 一般細菌          | 200 個 / mL 以下      | 月 1 回以上     |
| 総トリハロメタン      | 0.2 mg / L 以下      | 年 1 回以上     |

### 3 その他の注意事項

- ・ 検査の実施及び方法等においては、関係法令等を理解し遵守すること。
- ・ 測定結果は、管理日誌に記入すること。
- ・ 水質検査の結果により適宜薬剤を投入すること。
- ・ 薬剤は常に適正かつ安全に保管し、保管庫は常に施錠しておくこと。

以上、本指示明細書に定めのない事項は、その都度協議の上業務を遂行すること。

## D 浄化槽

### 1 業務の内容

公共施設の浄化槽の清掃、保守点検及び水質検査の維持管理を実施する。作業遂行に当たり関係法令・維持管理基準のあるものについてはそれに従って実施し、また本仕様書に示さない事項でも管理安全上必要な作業については、実施するものとする。

### 2 浄化槽の規模

- (1) 人槽 155人槽
- (2) 方式 嫌気ろ床担体流動循環ろ過方式
- (3) 容量 10m<sup>3</sup>

### 3 維持管理内容

- (1) 清掃 年1回
- (2) 保守点検 年4回
- (3) 水質検査 年1回

### 4 作業時期

作業時期については、清掃についてはプール終了後の9月とし、また、水質検査時期については、4月から6月の間（令和2年度を除く。）に設定すること。

### 5 報告

放流水の水質検査（透明度、BOD、COD、浮遊物質（SS）、pH、残留塩素）を実施したときは、試験検査成績書を提出してもらうこと。

### 6 その他

法定点検を実施すること。

以上、本指示明細書に定め無き事項は、その都度協議の上業務を遂行すること。

## E 消防設備

### 1 業務の内容

点検は総合点検を年1回、機器点検を年1回実施とし、作業基準は、消防法第17条、第17条3の3に従って行うこととし、常に完全に作動する状態に維持すること。

### 2 保守点検対象設備

| 設備名称            | 仕様      | 数 |
|-----------------|---------|---|
| 【消火器具設備】        |         |   |
| 粉末消火器           | 粉末10型   | 2 |
| 【非常警報器具】        |         |   |
| 非常警報設備複合装置露出防雨型 | 自動式サイレン | 1 |

### 3 保守点検内容

次の掲げる点検及保守に関することを行うこととし、法令の定めのあるものはそれに従うものとする。

| 種 別             | 点検内容          |
|-----------------|---------------|
| (1) 外観機能点検      | 年1回 点検設備前項目参照 |
| (2) 総合点検        | 年1回 点検設備前項目参照 |
| (3) 消防機関への報告書作成 | 年1回           |

以上、本指示明細書に定め無き事項は、その都度協議の上業務を遂行すること。

## F 給湯器

### 1 業務の内容

温水シャワーが正常に運転するため給湯器の点検を実施する。作業遂行に当たり関係法令・維持管理基準のあるものについてはそれに従って実施し、また仕様書に示さない事項でも管理安全上必要な作業については、実施するものとする。

### 2 点検内容

#### (1) プール始業前

- ①機器装置の確認
- ②作動状況の確認

#### (2) プール終業時

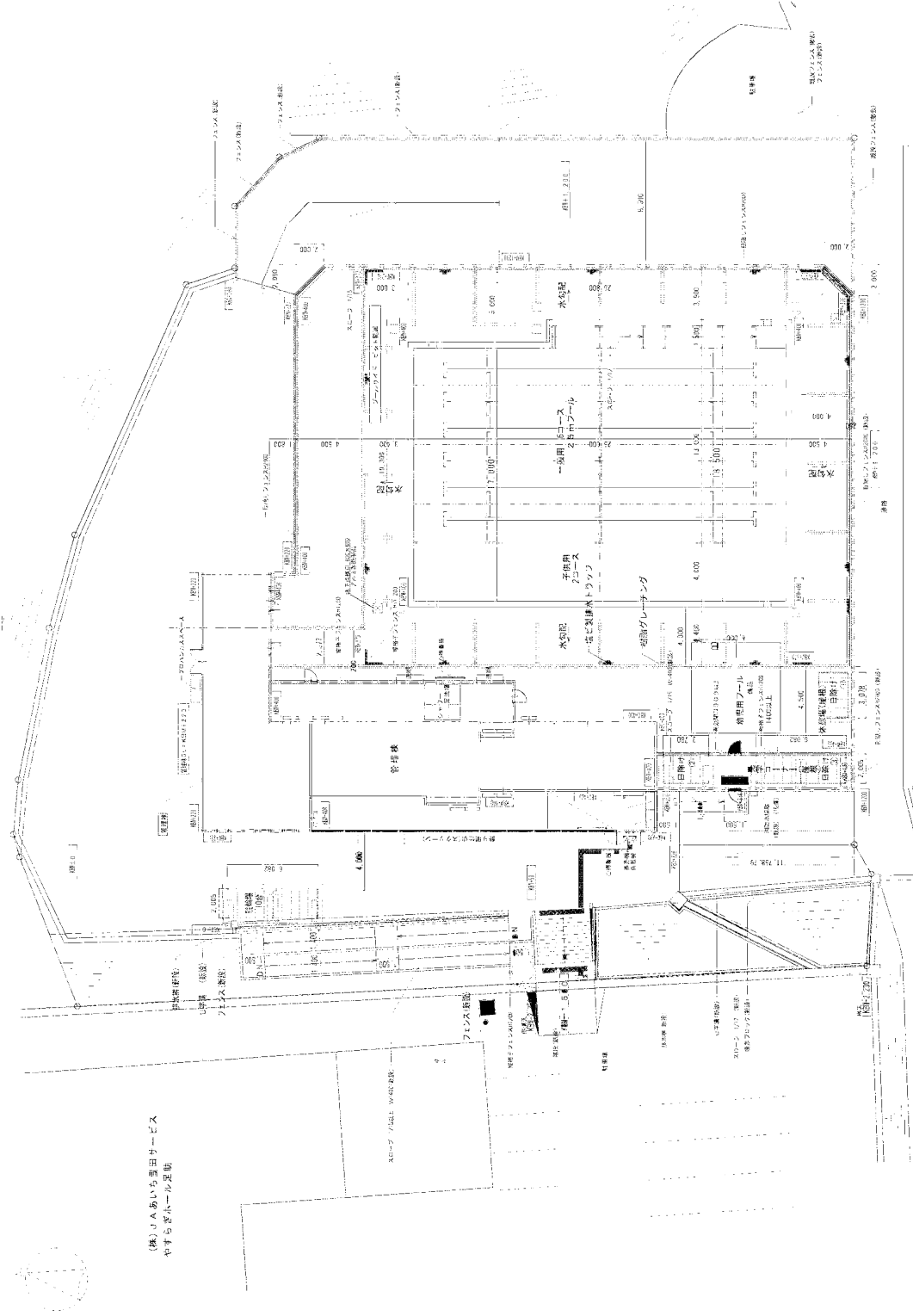
- ①機器装置の確認
- ②作動状況の確認
- ③冬場の凍結防止のため水抜き実施

### 3 その他

- (1) 点検業務に要する消耗品及び各種点検機器等については準備負担のこと。
- (2) 点検業務において機器の不良箇所が発見された場合は、速やかに報告し、協議の上処理すること。

以上、本指示明細書に定め無き事項は、その都度協議の上業務を遂行すること。

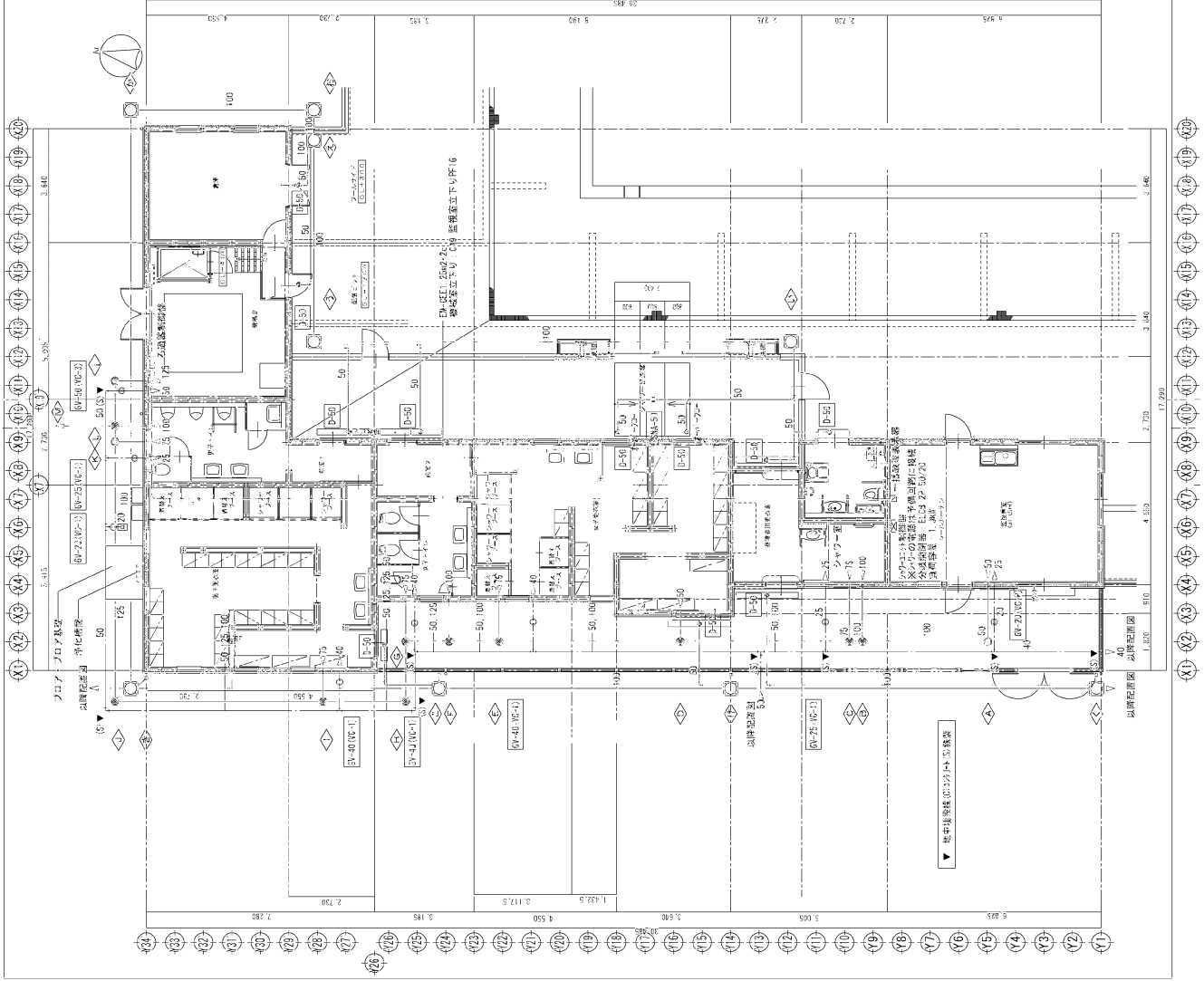
(株) JAあいち豊田サービス  
やまぎホール足跡



配管図 S1/210

|      |                             |     |      |    |       |                       |              |
|------|-----------------------------|-----|------|----|-------|-----------------------|--------------|
| No   | 豊田市市民センター改築工事               | 製図者 | 橋本 誠 | 縮尺 | 1/200 | 製図                    | 平成30年9月      |
| 共-06 | 令和元年年度<br>豊田市都市整備部<br>公共建築課 | 設計図 |      |    |       | 設計事務所名称               |              |
|      |                             |     |      |    |       | 〒491-0001 豊田市橋本町1-1-1 | 057-241-1775 |

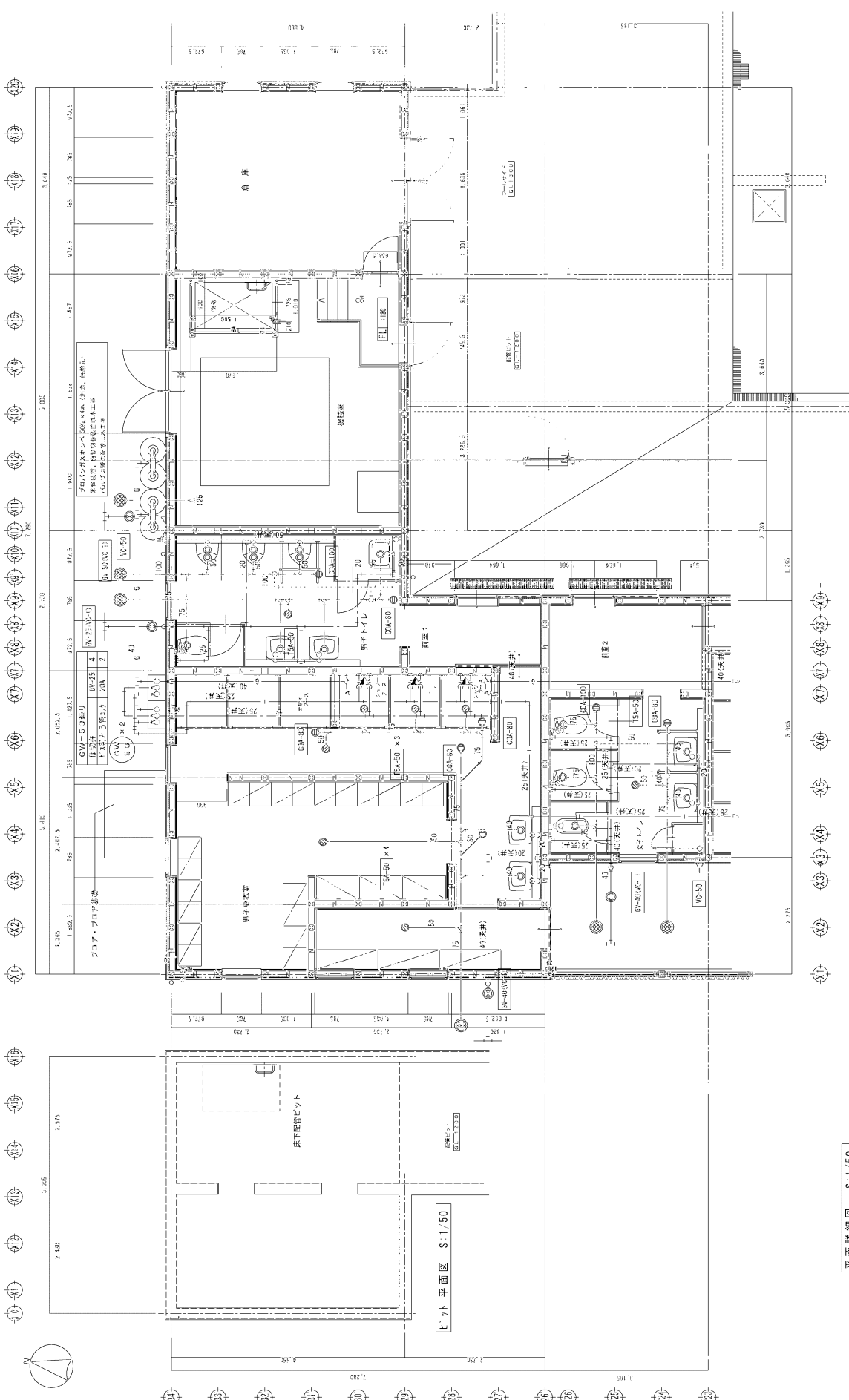




| 併りリスト<br>番号 | 樹種別     | 樹種別  | 幹口徑  | 基料別 | 管径高       | 管種    | 樹深号   |
|-------------|---------|------|------|-----|-----------|-------|-------|
| A           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP100 | 300   |
| B           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP100 | 400   |
| C           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP125 | 480   |
| D           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP150 | 560   |
| E           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP125 | 590   |
| F           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP125 | 650   |
| G           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP125 | 810   |
| H           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP125 | 890   |
| I           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP125 | 950   |
| J           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP125 | 1,050 |
| K           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP125 | 1,110 |
| L           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP150 | 1,120 |
| M           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP150 | 1,170 |
| N           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP150 | 1,510 |
| O           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP150 | 1,530 |
| P           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP150 | 1,570 |
| Q           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP150 | 1,710 |
| R           | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP100 | 500   |
| S           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP100 | 400   |
| T           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP100 | 450   |
| U           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP100 | 360   |
| V           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP100 | 420   |
| W           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP100 | 540   |
| X           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP100 | 220   |
| Y           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP100 | 340   |
| Z           | プラスチック根 | 90 Y | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP100 | 440   |
| aa          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-400   | VP100 | 200   |
| ab          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-1,000 | VP100 | 200   |
| ac          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-1,000 | VP100 | 240   |
| ad          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-1,000 | VP150 | 240   |
| ae          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-1,000 | VP150 | 260   |
| af          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-1,000 | VP150 | 280   |
| ag          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-1,000 | VP150 | 270   |
| ah          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-1,000 | VP100 | 240   |
| ai          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-1,000 | VP125 | 400   |
| aj          | プラスチック根 | 90 L | φ200 | 根留差 | KBM-220   | VP125 | 1,100 |

No. 豊田市助アール改築管工事 図面名称 豊田本3号線 縮尺 1/100 製図 平成30年9月

機-03 豊田市都市整備部 公共建築課 設計区 設計事務所名称

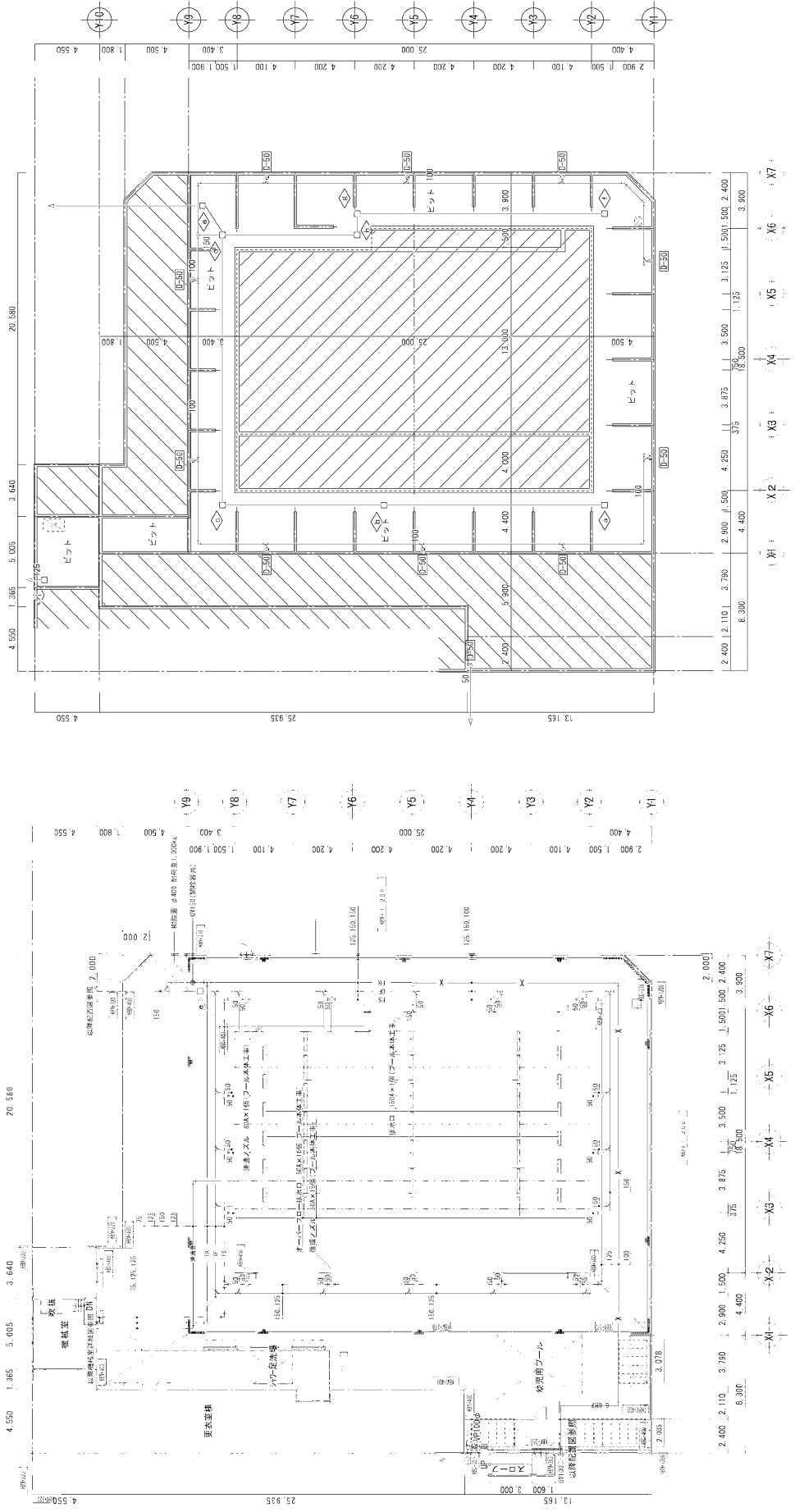


平面詳細図 S-1/50

|       |               |                     |               |
|-------|---------------|---------------------|---------------|
| No    | 豊田市足助プール改築管工事 | 原簿名称<br>豊田プール改築管工事  | 原簿<br>平成30年9月 |
|       | 機-01          | 設計図                 | 縮尺<br>1/50    |
| 令和元年度 |               | 設計事務所名称<br>豊田市都市整備部 |               |
|       |               | 公共建築課               |               |



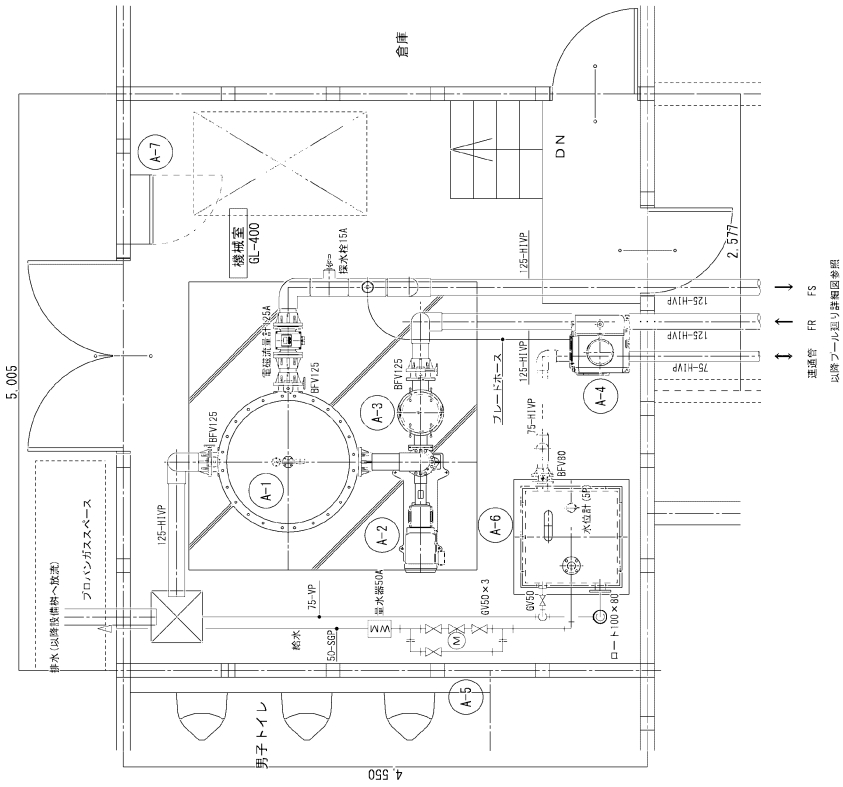




No. 豊田市助動プール改築管工事  
 図面名称 豊田市助動プール改築管工事  
 縮尺 1/200  
 平成30年9月  
 設計事務所名称 豊田市都市整備部 公共建築課  
 令和元年度  
 機-06  
 01/04/14 2019/09/04 15:53:22  
 01/04/14

| 記号  | 機器名称   | 仕様   | 数量           | 備考 |
|-----|--|--|--------------|----|
| A-1 | ろ過装置<br>ろ過能力: 120m <sup>3</sup> /h<br>ろ過媒体 (FRP製) φ1000×H1200×125A<br>精製機標準<br>機内送給管 (UPP)、自動エア抜き弁、圧力弁等<br>付属品 電流計 125A (備算型)<br>カートリッジ材質 (2本 (再生タイプ))<br>戸数込標準式φ100×φ80×200(L/min×1.5m×7.5kW) O4.0V/F | 1  | 同等品<br>PF-6型 |    |
| A-2 | ろ過ポンプ  | ステンレス製 125A×100A (送排P2送、ハスケット式)                      | 1            |    |
| A-3 | バックワート   | ダイヤフラム式定容量ポンプ 30L/min×3φ200V/8W<br>標準タンク (FRP製) 120L | 1            |    |
| A-4 | 電気調整器  | 電機二方ポール弁 50A×200V 単水機 50A                            | 1            |    |
| A-5 | 排給水装置  | 800×800×H-1310 (FRP製) 水位計 (SP) 共                     | 1            |    |
| A-6 | 水位計 (SP)   | 鉛板製屋内型標準 ELB、24Hタイマ付 一括調整器等付                         | 1            |    |
| A-7 | 制御盤  |  |              |    |

|          |   |
|----------|---|
| ろ過装置設置条件 | 大プール 25m×13m×1.5m=33.75m <sup>3</sup> 小プール 25m×4m×0.7m=70.0m <sup>3</sup> 大プールのろ過 (1.0m×1.45m) ÷ 3×25m=12.1m <sup>3</sup> |
| 合計必要水量   | 全プールの合計 455.85m <sup>3</sup>  |
| 循環配管内等水量 | プールの水量の3%   |
| プール排水量   | 455.85m <sup>3</sup> × 1.03 = 469.6m <sup>3</sup>   |
| ろ過能力の選定  | 469.6m <sup>3</sup> × 4.0ターン/φ ÷ 24時間 = 78.2m <sup>3</sup> /h以上 ※4時間稼働  |
| プール水量    | 469.6m <sup>3</sup> × 4.0ターン/φ ÷ 15時間 = 117.4m <sup>3</sup> /h以上 ※夜間停止  |
|          | pH 5.8~6.6  |
|          | 濃度 2以下  |
|          | 過アンガンの能力リウム消費量 12mg/L以下とすること  |
|          | 逆漏洩耐塩量濃度 0.4mg/L以上であること 1.0mg/L以下であることが望ましい   |
|          | 大粒薬剤 不投出  |
|          | 総トリハロメタン 0.2mg/L以下であることが望ましい  |
|          | 一級細菌 1ml中200コロニー以下であること   |
| プールの接続方式 | 底層接続方式  |
| 運送方式     | 標準仕様  |

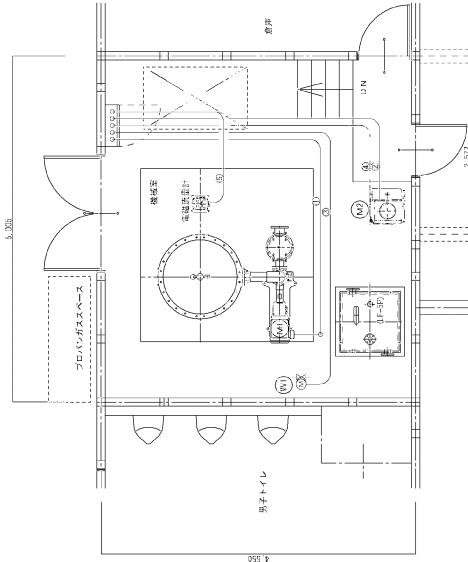


機械室詳細図 1/30

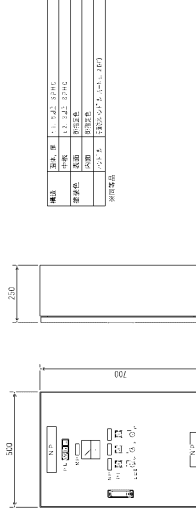
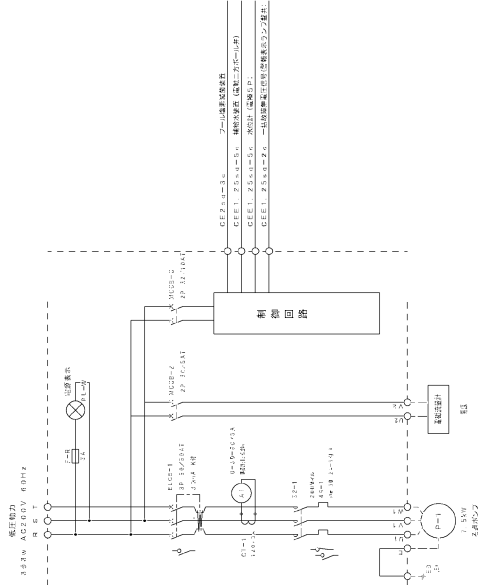
# ※参考図



| 記号      | 番号 | 設備名称  | 電 線              | 電 管     |
|---------|----|-------|------------------|---------|
| M1      | ①  | 名産ポンプ | EH-4E 8.0sq×4C   | HIVE-28 |
| M2      | ②  | 塩素添加器 | EH-4E 2.0sq×3C   | HIVE-22 |
| M1-1    | ③  | 検検水弁  | EH-4EE 1.25sq×5C | HIVE-22 |
| LF (BP) | ④  | 水位計   | EH-4EE 1.25sq×5C | HIVE-22 |
|         | ⑤  | 電磁流量計 | EH-4EE 1.25sq×3C | HIVE-22 |



機房至詳細図 1/50



| 機 種   | 品 名   | 型 号                | 材 質 |
|-------|-------|--------------------|-----|
| 主開閉器  | 主開閉器  | 3P-200V/50Hz (100) | FRP |
| 電磁流量計 | 電磁流量計 | 200V/50Hz (100)    | FRP |
| 電磁流量計 | 電磁流量計 | 200V/50Hz (100)    | FRP |
| 電磁流量計 | 電磁流量計 | 200V/50Hz (100)    | FRP |

制御部詳細図 1/15

※参考図

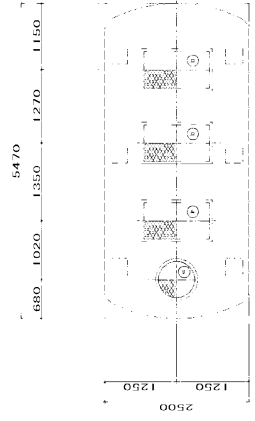
|         |               |         |      |         |
|---------|---------------|---------|------|---------|
| No      | 豊田市足助プール改築管工事 | 図面名称    | 概尺   | 製図      |
|         | 機-09          | 設計図     | 1/50 | 平成30年9月 |
| 豊田都市整備部 |               | 設計事務所名称 |      |         |
| 令和元年度   |               | 公共建築課   |      |         |

※参考図 アスファルトは別途工事

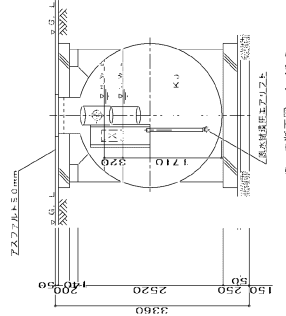
豊田市東助プール改善管工事

豊田市都市整備部 公共建築課

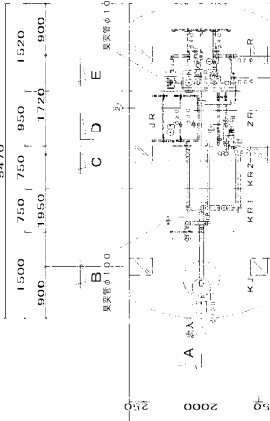
豊田県 豊田郡 豊田町 豊田30年9月



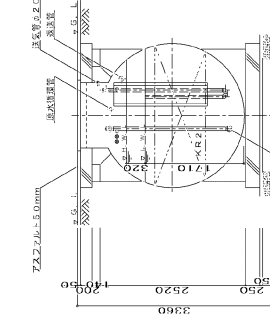
スラブ平面図 1/50



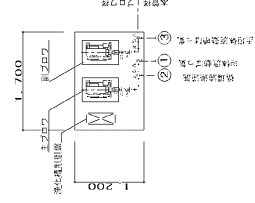
B-B断面図 1/50



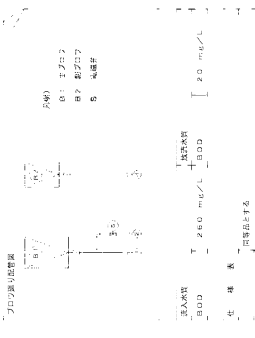
A-A断面図 1/50



C-C断面図 1/50



電線管配置図



プロワ基礎断面図

仕様表 (Specification Table)

| 品名       | 仕様        |
|----------|-----------|
| コンクリート基礎 | 強度等級: C25 |
| 基礎鉄筋     | 径: 10mm   |
| 基礎型枠     | 厚さ: 10mm  |

基礎断面積: 1000 x 1000 = 1.00 m<sup>2</sup>

基礎容積: 1000 x 1000 x 100 = 0.100 m<sup>3</sup>

材料仕様表 (Material Specification Table)

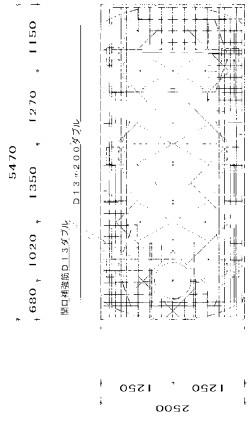
| 材料名    | 仕様        |
|--------|-----------|
| コンクリート | 強度等級: C25 |
| 基礎鉄筋   | 径: 10mm   |
| 基礎型枠   | 厚さ: 10mm  |

設計図 1/50 平成30年9月

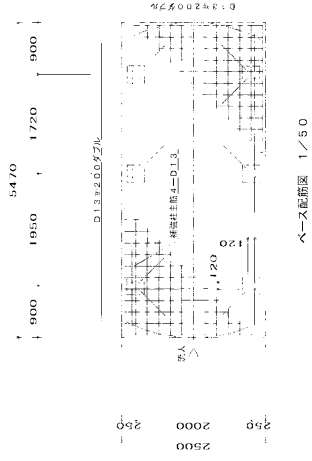
設計事務所名称

製図

豊田県 豊田郡 豊田町



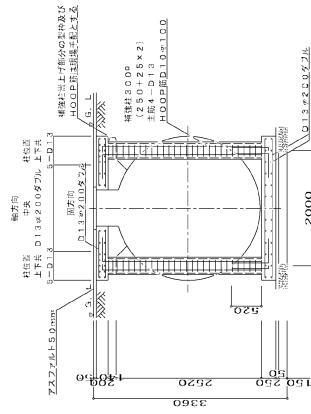
スラブ配筋図 1/50



ベース配筋図 1/50

一般事項  
 コンクリート  $F_c = 21 \text{ N/mm}^2 - 18$   
 鉄筋 SD295A  
 鉄筋かぶり スラブ 40  
 ベース 60  
 定着及継手 40d  
 地盤 砕石 40-0

注1) 上層は $\pm 1.0$ 階面(但し中央部面として説明)とする。  
 注2) 図中の「G.L.」は平均階面での地上レベルを示す。  
 注3) 地耐力は $50 \text{ kN/m}^2$ 以上必要とする。(地質調査が確認工事の時)

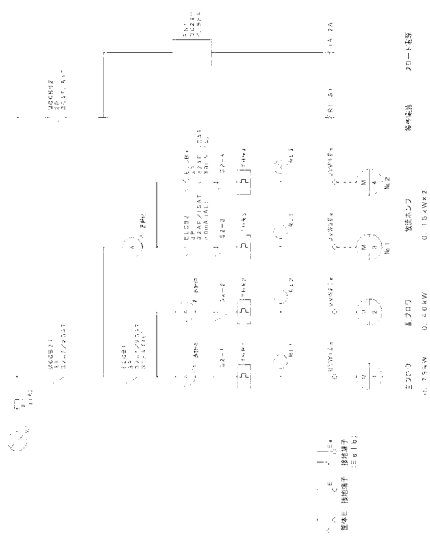


横断面配筋図 1/50

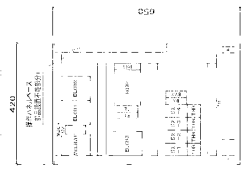
## ※参考図

機材配置図

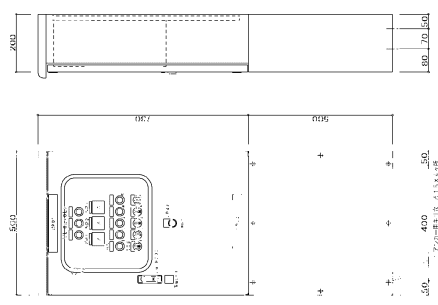
100W AS2000A (80W)  
2 x 5 x 1.6 x 4



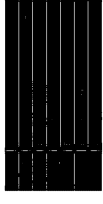
内部部品配置図



型番図



右側面中央

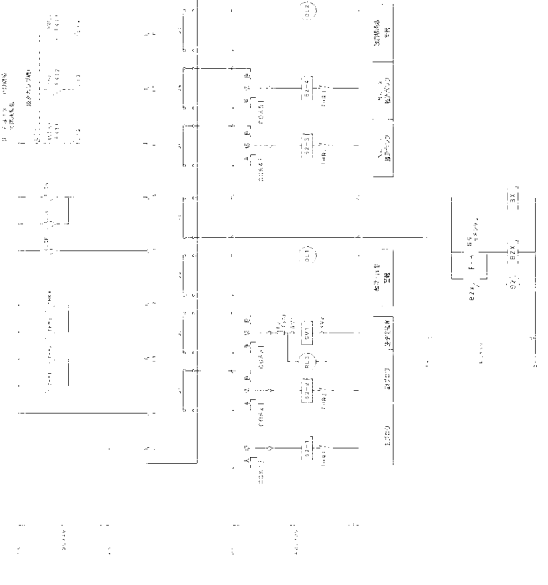


仕様表

| 項目   | 仕様                   |
|------|----------------------|
| 型番   | AS2000A (80W)        |
| 電源   | AC100V 50/60Hz       |
| 消費電力 | 100W (80W)           |
| 外形寸法 | 160 x 200 x 100 (mm) |
| 重量   | 約 2.5kg              |
| 保証期間 | 3年                   |
| 付属品  | 電源ケーブル、取扱説明書         |

- P-1 -

配線図



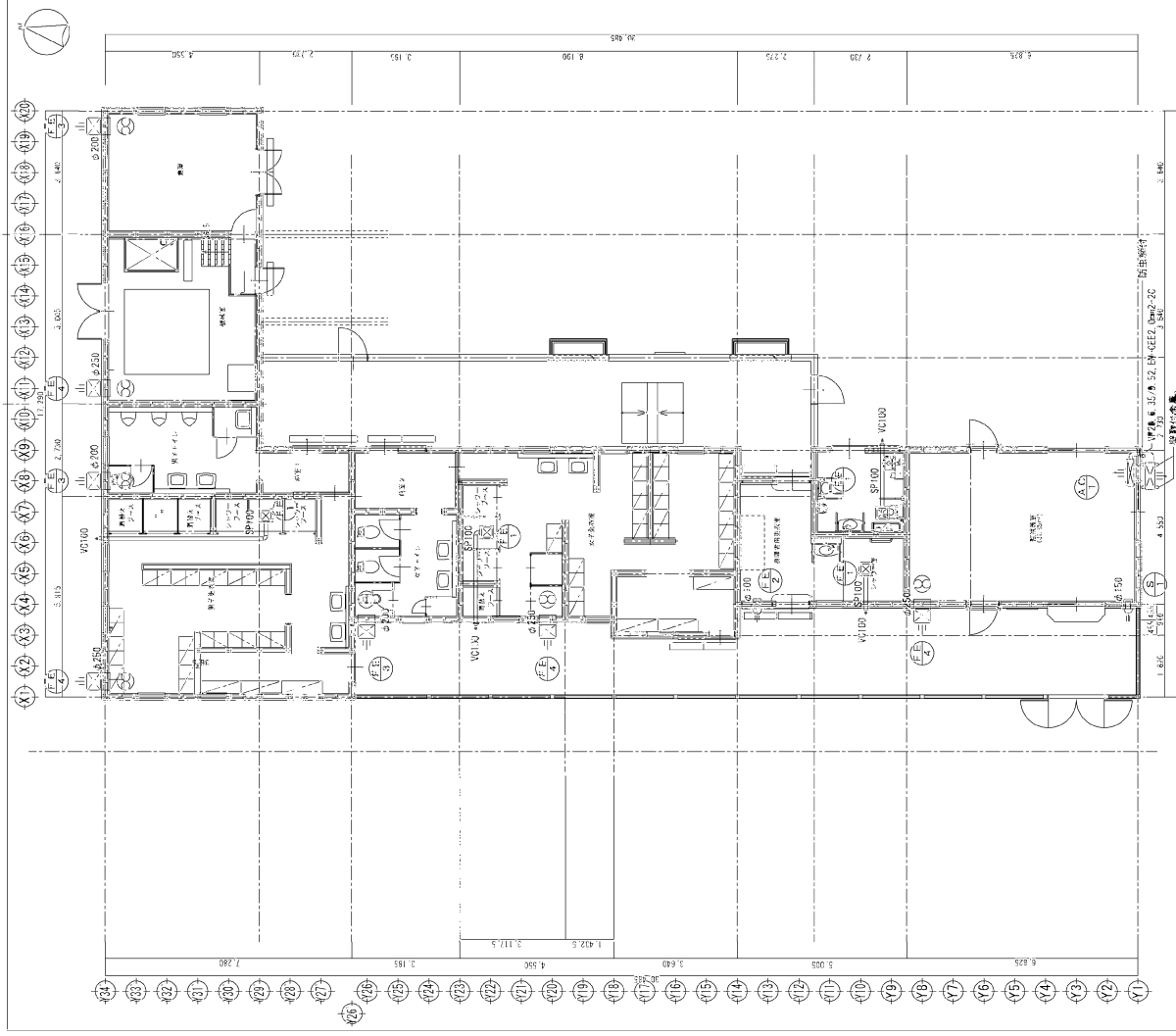
※参考図

No. 豊田市民間一丸改変管工事  
機-12 豊田市都市整備部 公共建築課

図面名称 配線図  
設計者 中比呂田 聖樹  
設計事務所名称 NS  
縮尺 NS  
図号 平成30年9月

1/1000 2020/09/15 12:24  
09/08 18/04/18





空調設備表

| 記号   | 名称・品番         | 能力   | 数量 | 備考   |
|------|---------------|--|----|------|
| AC-1 | ルームエアコン<br>型式 | 冷房能力: 5.610 (4~5.7)kW<br>暖房能力: 6.710 (6~3.2)kW<br>電源: 単相200V<br>消費電力: 冷房定額1.91kW 暖房定額1.7kW<br>圧縮機 1.7kW<br>ワイヤレスリモコン<br>屋外凝結排水器具 | 1  | 監視員室 |

換気設備表

| 記号   | 名称・品番    | 能力   | 数量 | 備考                                  |
|------|----------|--|----|-------------------------------------|
| FE-1 | 天井換気扇    | 風量: 50m <sup>3</sup> /h<br>電源: 単相100V<br>口径: φ100                    | 4  | 多目的トイレ<br>男子更衣室<br>女子更衣室<br>非常用トイレ室 |
| FE-2 | ハイファン    | 風量: 50m <sup>3</sup> /h<br>電源: 単相100V<br>口径: φ100<br>SUS製フード (防虫網)   | 1  | 非常用トイレ室                             |
| FE-3 | 壁掛換気扇    | 風量: 40m <sup>3</sup> /h<br>電源: 単相100V<br>口径: φ200<br>SUS製換気フード (防虫網) | 3  | 倉庫、男子トイレ<br>女子トイレ                   |
| FE-4 | 壁掛換気扇    | 風量: 50m <sup>3</sup> /h<br>電源: 単相100V<br>口径: φ250<br>SUS製換気フード (防虫網) | 4  | 増設室、男子更衣室<br>女子更衣室、監視員              |
| S-1  | 自然換気ユニット | 口径: φ150<br>SUS製換気フード (防虫網)  | 1  | 監視員                                 |
| VC   | ペントキャップ  | 口径: φ100<br>SUS製フード (防虫網)  | 4  | 男子更衣室<br>女子更衣室<br>非常用トイレ室<br>多目的トイレ |

No. 豊田市東部プール改修工事

計画区 設計図

原簿名称 豊田プール改修工事  
設計・監理・監査  
監理・監査  
設計事務所名称

No. 13 令和元年度

豊田市都市整備部  
公共建築課

No. 13 令和元年度

設計事務所名称

豊田 平成30年9月

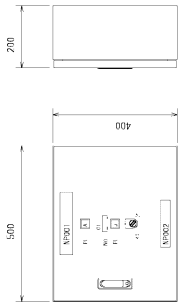
1/100

豊田

1/1484/1 2019/09/16 15:52:28

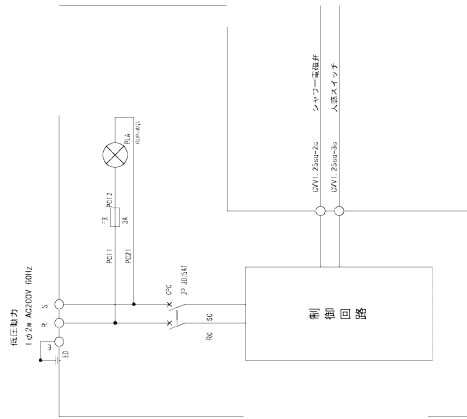
01950

01950



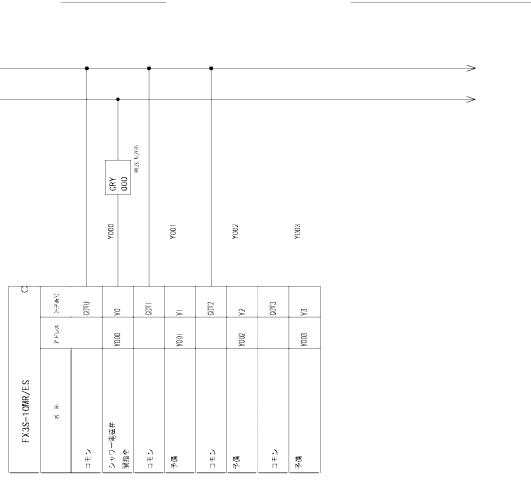
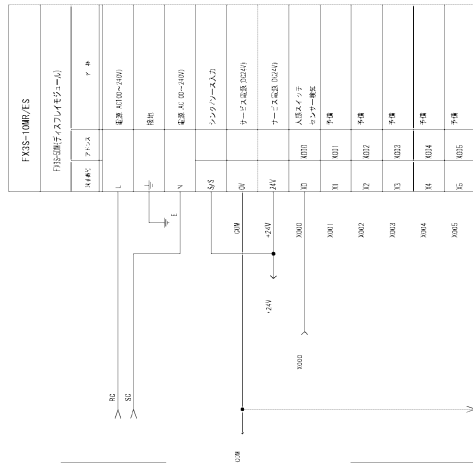
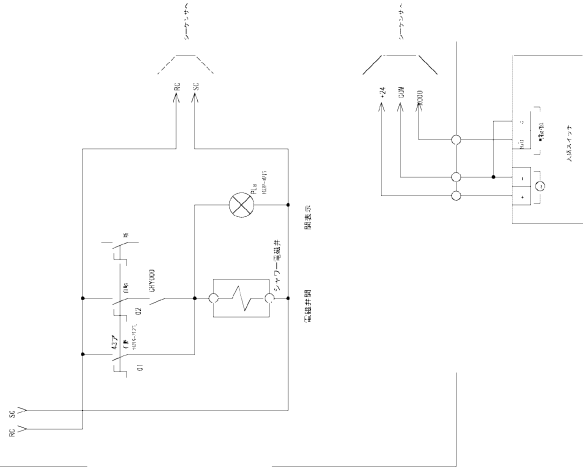
| 記号 | No. | 品名   | 数量 | 単位 | 備注 |
|----|-----|------|----|----|----|
| SW | 1   | スイッチ | 1  | 個  |    |
| SW | 2   | スイッチ | 1  | 個  |    |
| SW | 3   | スイッチ | 1  | 個  |    |
| SW | 4   | スイッチ | 1  | 個  |    |
| SW | 5   | スイッチ | 1  | 個  |    |

PL-A 閉接点 X1  
PL-B 閉接点 X1



制御回路

シーケンサ入力回路



※参考図

## 豊田市足助プール 備品一覧表

| No. | 備品名          | メーカー・規格等                            | 数量     | 備考                 |
|-----|--------------|-------------------------------------|--------|--------------------|
| 1   | プールクリーナー     | 四柳商事 SWITOL SP83型                   | 1      |                    |
| 2   | 掛け時計         | シチズン 電波時計                           | 1      | 室内用                |
| 3   | 水温計          | エバニュー                               | 1      |                    |
| 4   | AED(半自動除細動器) | (株)フィリップスエレクトロニクスジャパン<br>ハートスタートFRx | 1      | パット一式含む            |
| 5   | 事務机          | 片袖タイプ                               | 2      |                    |
|     |              | スタンダードタイプ(片袖なし)                     | 1      |                    |
| 6   | 椅子           | 肘なし                                 | 3      |                    |
| 7   | ロッカー         | 9人用(380×900×1,790)                  | 16     | 男子更衣室 8<br>女子更衣室 8 |
|     |              | 4人用(515×900×1,792)                  | 1      | 身体障害者用<br>更衣室      |
|     |              | 6人用(515×900×1,792)                  | 1      | 監視員室               |
| 8   | 靴箱           | 16人用                                | 6      | 男子更衣室 3<br>女子更衣室 3 |
|     |              | 8人用                                 | 1      | 監視員室               |
| 9   | ロッカー(掃除道具入れ) | (450×450×1,790)                     | 1      | 倉庫                 |
| 10  | キャビネット(薬剤用等) | (上置き)<br>(下置き)<br>(各392×762×865)    | 各1     | 機械室                |
| 11  | 放送機器         | 卓上用デジタルアンプ                          | 1      | 監視員室               |
|     |              | 単局リモコンマイク                           | 1      | 監視員室               |
| 12  | 幼児用プール       | 4,500×6,000 簡易ろ過機付                  | 1      | プールサイド             |
| 13  | ビート板整理棚      |                                     | 2      |                    |
| 14  | 監視台          | プールリングブイ付                           | 1      |                    |
| 15  | ベンチ          | アルミベンチ(背付)<br>アルミベンチ(折り畳み式)         | 2<br>5 | 各更衣室他              |
| 16  | ベッド          | 600×1,800×500                       | 1      | 監視員室               |
| 17  | 介護式シャワーチェア   |                                     | 1      | 身体障害者用<br>更衣室      |
| 18  | プール用車椅子      |                                     | 1      | 身体障害者用<br>更衣室      |
| 19  | 消火器          | 粉末消火器10型                            | 2      |                    |
| 20  | 設備時計         | 直径45cm                              | 1      | プールサイド             |
| 21  | 冷蔵庫          | 140L                                | 1      | 監視員室               |
| 22  | 電話           | FAX付                                | 1      | 監視員室               |

※No.5以降の備品については今後購入予定のもの